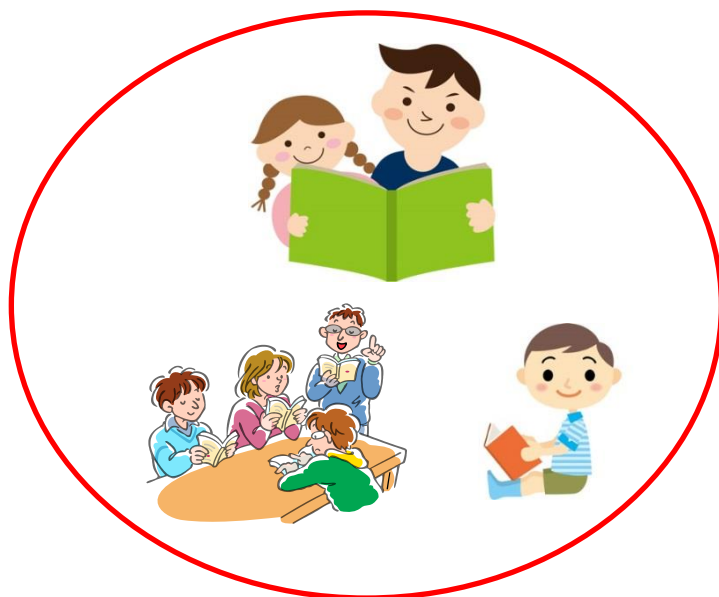


子ども読書活動推進計画

改訂版(平成 28 年度～平成 32 年度)

みんなで^{はぐく}育もう
子どもの^{どくしょしゅうかん}読書習慣



平成 28 年 3 月
みやま市教育委員会



はじめに

「本は心のビタミン」「読書は生きていくための栄養」などの言葉を聞いて、多くの人がうなずかれることと思います。しかし、日常生活の子ども達の現状は、情報化や国際化等による社会の急激な変化に加え、多様な価値観や生き方が子ども達に影響を及ぼし、読書離れや活字離れが懸念されるようになってきました。

このような状況の中、平成12年の「子ども読書年」を契機として、全国的に子どもの読書の必要性が再認識されて、平成13年に「子どもの読書活動に関する法律」が施行されました。国及び地方公共団体の責務として計画を策定し、子どもの読書活動に関する事業が展開されてきました。しかし、近年、またインターネット、携帯端末等の様々な情報メディアのさらなる発達普及による生活環境の変化を捉えて、国や県において計画や取組の見直しを行っています。

みやま市では、読書の重要性を鑑み、国の基本計画や福岡県の推進計画をもとに、平成20年度に「みやま市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもと本の出合いを地域社会全体で作り出すことを目指して、取組を展開してきました。このたび、これまでの成果と課題をふまえ、基本的な方向は継承しつつ、子どもの発達段階に応じたより効果的な読書活動を推進する5年間の具体的な取組を示す改訂を行いました。子どもが幼い頃から本にふれ、本の楽しさを知り自主的に読書活動をする環境づくりへの取組を示しています。

本市は筑後七カ国の「幸のくに」として、読書による心の豊かさを幸せの一つとふまえ、「読書のまち」づくりを進めようとしています。また、みやま市教育委員会では本市の子ども達が身に付ける「みやまの力」として、「知恵」「社会性」「健康」「挑戦力」の四つを掲げ、育成の計画・実践を行っています。そして、育成の土台として「裾野教育」を示し、図書館教育を充実して読書力や情報活用能力をのばす取組を推進しています。子どもが読書によって、言葉や表現を学ぶとともに、多様な世界や人々の考えにふれ、言語能力や思考力、想像力を身に付けることは大切なことです。また、様々な情報を収集・活用し課題を解決していくことに挑戦する力を育てることも必要だと考えています。

今後は、本計画に基づいて、市立図書館を中核として、家庭、地域、学校、関係機関等の連携を図りながら、市民の皆様とともに魅力的な読書環境を整備して、読書のまちづくりに取り組んでいきます。そして、みやまっ子が、温かな心を育み、夢への可能性を広げ、毎日の生活を豊かにする読書の習慣につないでいけるようにと願っています。

最後になりましたが、改訂にあたりご尽力を賜りました策定委員の皆様はじめ、多大なご協力、ご意見をいただきました関係各位に心から厚くお礼申し上げます。

平成28年3月

みやま市教育委員会
教育長 長岡 廣通

目次

第1章 計画改訂にあたって	1
1 子どもの読書活動推進の意義	
2 子どもの読書活動の現状	
第2章 第1次計画の取組状況	3
1 第1次計画の基本方針	
2 基本方針に掲げた事業の取組状況と課題	
(1) 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進	
(2) 子どもの読書活動推進のための施設・設備等諸条件の整備・充実	
(3) 子どもの読書活動に関する理解と関心を深めるための啓発	
第3章 計画改訂の基本的な考え方	6
1 子どもの成長過程と読書	
2 計画の目的	
3 計画の位置づけ	
4 計画の目標	
5 計画の対象者	
6 計画の期間	
7 計画推進の基本方針	
(1) 基本方針1：読書の楽しさにふれる	
(2) 基本方針2：読書の大切さを知る	
(3) 基本方針3：子どもの読書習慣を市民みんなで育てる	
8 計画の指標	
9 計画の体系	
第4章 計画推進のための方策	10
1 読書の楽しさにふれる：発達段階に応じた読書に親しむ機会づくり	
(1) 乳幼児期における読書活動の推進	
(2) 小学生期における読書活動の推進	
(3) 中学・高校生期における読書活動の推進	
2 読書の大切さを知る：読書活動に関する理解と関心の普及	
(1) 発信の工夫による普及	
3 子どもの読書習慣を市民みんなで育てる	
(1) 家庭・地域の読書環境の整備	
(2) 市立図書館の読書環境の整備	
(3) 園や学校の読書環境の整備	
(4) 関係機関・団体の連携・協力の推進	
<input type="checkbox"/> 本文用語注記	16
<input type="checkbox"/> 資料編	資—1